
母の日

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

母の日

【コード】

N2026T

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

母の日のプレゼントと言えば……あれ？ なんだったっけ？

(前書き)

花だよ。そう花だよ。

「綺麗な花には棘があるのさ。ふっ！ そんな事、言われなくてもわかっているさ。僕も馬鹿じゃないんでね！」

「はあ？ アンタ何言ってるの？」

部屋に戻る途中、俺の横を通り過ぎようとした姉が、不思議そうに聞いてくる。しかも、顔を歪めて。

「まあ、凡人には理解出来ないね。今の僕に何を言っても無駄だよ。ノックを知らないお姉さん！ では、アデュ！」

俺は振り向きもせず、そう言って自分の部屋へと戻った。

「何あれ？ 訳わかんない」

姉はそう呟いてキッチンまで行った。

「ねえ、お母さん。アイツ、また変なんだけど……」

「ああ、あれ？ 母の日のプレゼントに薔薇の花をくれたのよ。バカでしょ。カーネーションなのにな」

「で……、何でああなるの？」

「それはね、私に薔薇を差し出した時、棘で指、刺したみたいなの。」

だから「

「ふん。じゃ、いつもと変わらないのね。しょうもない」

『名誉の負傷と言えんのか！ くそ！ バカにしゃがつて！ ……
ん？ そう言えば、既にバカって言われてたな。なあんだ、バカに
されてないじゃん。じゃあ、いいっか！』

部屋でこっそり聞いていた俺は、そう思った。

(後書き)

うん。何かが引っ掛かる……。

いまいちキレがない(涙)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2026t/>

母の日

2011年10月8日00時53分発行